

平成21年度

運営方針



京都市選挙管理委員会事務局

平成21年度 選挙管理委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成21年度重点取組				平成20年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行 投票しやすい環境の整備	1 衆議院議員総選挙の管理執行	適正・円滑な執行		選挙課	選挙に対する準備	市議補選（南区・下京区）の実施等
	2 京都府知事選挙の管理執行	適正・円滑に執行するための万全の準備			実務研修の充実	初任者研修，開票事務研修の実施
	3 農業委員会委員選挙の管理執行	適正・円滑な執行			電子投票・投票受付システムの検証と今後に向けた検討	実施結果の分析及び今後に向けた検討
	4 投票受付システムの拡充	東山区全投票所での実施及び他区への拡大に向けての検討。			常時啓発の取組充実	ホームページのレイアウト変更や掲載資料の充実等
	5 国民投票法に係る名簿調製システムの構築	平成22年5月18日施行の国民投票法に係る投票人名簿調製システムの構築			裁判員制度導入に係る取組	裁判員候補者予定者名簿の作成及び制度啓発のための講演会の開催
	6 選挙人名簿の磁気ディスクによる調製の実施	平成22年4月からの実施				
若年層を中心とする政治や選挙への関心を高める啓発等の取組	7 ホームページの充実	政治や選挙についてわかりやすく紹介するコンテンツの作成・掲載				
市・区選挙管理委員会の連携強化と事務局職員の事務能力向上のための取組	8 市・区選挙管理委員会合同の定例の会議の開催及び各種選挙に向けた研修の実施	市・区選挙管理委員会の連携強化並びに職員の選挙制度に関する知識及び事務能力の向上				

【平成 21 年度の選挙管理委員会事務局の重点取組の概要】

【基本方針・重点方針】

- 公正，適正かつ効率的な選挙事務の管理執行
- 投票しやすい環境の整備

1 衆議院議員総選挙の管理執行

平成 21 年 9 月 10 日任期満了の衆議院議員総選挙を適正・円滑に実施する。

2 京都府知事選挙の管理執行

平成 22 年 4 月 15 日任期満了に伴う京都府知事選挙にむけて，適正・円滑に執行できるよう万全の準備を行う。

3 農業委員会委員選挙の管理執行

平成 21 年 11 月 1 日任期満了の農業委員会委員選挙を適正・円滑に実施する。

4 投票受付システムの拡充

衆議院議員総選挙において，東山区の全投票所での実施を行うとともに，実施結果をふまえ，来年度以降の選挙において全区へ拡大していくための検討・準備を行う。

5 日本国憲法の改正手続に関する法律（国民投票法）に係る名簿調製システムの構築

平成 22 年 5 月 18 日施行の国民投票法に係る投票人名簿調製システムの構築を行う。

6 選挙人名簿の磁気ディスク化の実施

事務の効率化を目的として，平成 22 年 4 月から選挙人名簿の磁気ディスク化を行う。

【基本方針・重点方針】

- 若年層を中心とする政治や選挙への関心を高める啓発等の取組

7 ホームページの充実

ホームページの内容のさらなる充実を図り，迅速・的確な情報発信を行うとともに，中高生の政治・選挙についての関心を高めるため，選挙制度等についてわかりやすく紹介するコンテンツを掲載する。

【基本方針・重点方針】

- 市・区選挙管理委員会の連携強化と事務局職員の事務能力向上のための取組

8 市・区選挙管理委員会合同の定例会議の開催及び各種選挙に向けた研修の実施

市・区選挙管理委員会合同の会議を開催し連携強化を図るとともに職員の事務能力の向上のため各種選挙に向けた研修を実施する。

【行財政改革・創造の具体的取組】

【京都未来まちづくりプラン（行財政改革針・創造プラン）】

○投票所受付システムの導入による選挙事務の効率化

<取組概要>

投票所における待ち時間を短縮するため、投票受付システムを導入し、名簿対照事務の迅速化を図るとともに、経費の削減を図る。

<スケジュール>

平成 21 年度 各区における導入に向けた検討

平成 22 年度 実施区の段階的な拡大

平成 23 年度 全区で導入

【平成 21 年度の予算のポイント】

平成 21 年度 選挙管理委員会事務局当初予算

	475,000 千円
(内訳)	
衆議院議員等選挙費	433,000 千円
農業委員選挙費	16,000 千円
選挙管理委員会費	26,000 千円